

チャイルズタイムス

～みのがせないしんぶん～ 2025 年 4 月 No. 375

とくしゅう

特集 ぼうけんにいこう！

しんちゃくぼん

新着本コーナー



えほん E / ス

『うんがにおちたうし』

フィリス・クラシロフスキー／作

ピーター・スパイアー／絵

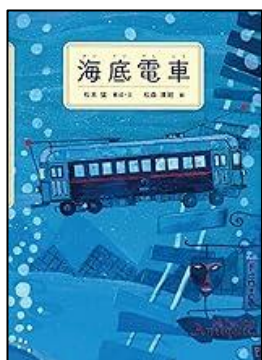
みなみもと ちか／訳 ポプラ社

うしのヘンドリカは、オランダのはたけの中でくらしていました。まいにちまいにち、草をたべてミルクをしぼる、そのくりかえしでした。

けれどある日、ヘンドリカはおいしい草をさがしているうちに、まちがってうんがにおちてしまいました。草をたべすぎて太っていたヘンドリカは自分で岸に上がりません。そのうち、ながれてきた大きな箱にのっかってしまい……。

おなじまいにちにあきあきし、もっとちがうけしきを見てみたい、と思っていたヘンドリカのぼうけんがはじまります。

はっこう：さがみおおのとしょかん でんわ：042-749-2244



てつおは、おかあさんと一緒に^{いっしょ}おじいちゃんのうちへひっこしてきました。おじいちゃんのうちには、入ってはいけないといわれているへやがありました。るすばんちゅう、こっそりへやのなかをのぞいたてつおが見たものは……？

えほん E/ま

『かいいてんしゃ
『海底電車』

松本 猛/構成・文 松森 清昭/絵 童心社

カメラマンの武田さんは、トンボを^{さつえい}撮影しようと歩いているとちゅう、^{どう}洞くつを見つけます。気になった武田さんは、博物館のガイドさんと洞くつを^{たんけん}探検することに。

洞くつやそこにすむ生きものたちの^{しゃしん}写真がたっぷり楽しめ、一緒に探検している気分になります。

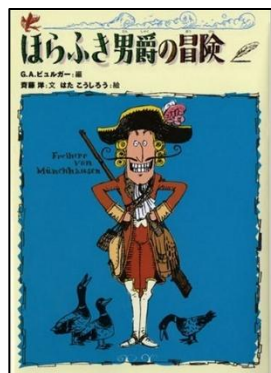
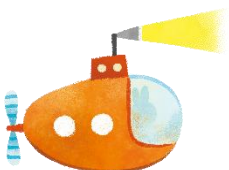
ちしき J40

『とける岩の洞くつ (水と地球の研究ノート 2)』

武田 晋一/写真・文 ポコヤマ クリタ/構成・絵 偕成社



ぼうけんにいこう！



ほらふき男爵はとにかくお話を盛ります。
一発の銃弾で何羽の鳥を仕留められるのか？ 狂犬病の犬にかまれたコートはどうなるのか？ けがをした時に目から飛び出す火花で、銃を発射できるのか？

この先が気になるあなたは、どうぞ本を読んでみてくださいね。

ものがたり J943/ビ

『ほらふき男爵の冒険』

G. A. ビュルガー/編 齊藤 洋/文
はた こうしろう/絵 偕成社



ぬいぐるみのこんと少女あきは小さいころからずっと一緒に。

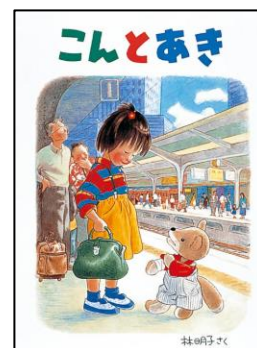
そんなある日、こんの腕がほころびてしまい、電車に乗っておばあちゃんの家に直に行くことにしました。でもその途中にはハラハラすることがいっぱい！

読んだあとは、大好きなぬいぐるみや大切なものをぎゅっとしたくりますよ。

えほん E/は

『こんとあき』

林 明子/作 福音館書店



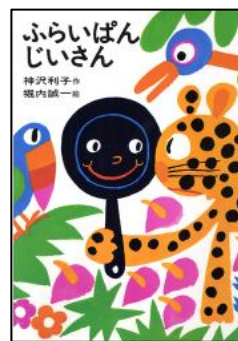
たまごを焼くのが大好きなふらいぱんじいさん。でも家に新しいフライパンがやってきて、すっかり出番が減ってしまいました。

「まだまだ役にたたい！」と広い世界に出たふらいぱんじいさんの冒険のお話です。

ものがたり J913/カ

『ふらいぱんじいさん (日本の創作幼年童話 5)』

神沢 利子/作 堀内 誠一/絵 あかね書房



だれにもはいてもらえないくつは、はいてくれる人(もの)を探しに行くことにします。

テーブルは足が4本必要だし、ヘビには足がないし、すずめには大きすぎるしと、なかなかはいてくれる人(もの)が見つかりません。

身近にある足の数がきになってしまう紙芝居です。

かみしばい C

『くつのぼうけん』

ソフィア・プロコフィエワ/原作
松谷 さやか/脚本 箕田 美子/絵 童心社



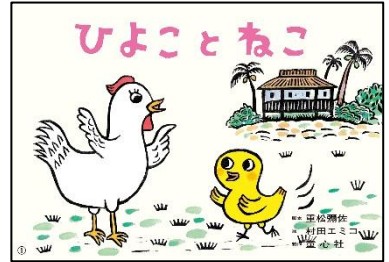


新着本コーナー



ある日ひよこはねこに食べられそうになりました。でも、ケーキを分けてあげることを約束して逃がしてもらいます。ところがケーキがとってもおいしかったので、ひよこはケーキをうっかり全部食べてしまいました。さあ、ひよこはどうになってしまうのでしょうか？

かみしばいC 『ひよことねこ』
重松 彌佐／脚本 村田 エミコ／絵 童心社



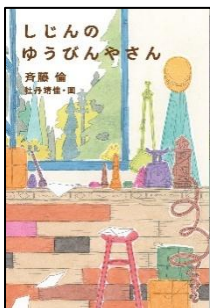
クルックの森に朝がきました。ふたごのうさぎが朝ごはんを食べようとすると、となりの家からいいにおい。行ってみると、たぬきかぞくも朝ごはんのじゅんびをしていました。せっかくなのでいっしょに朝ごはんを食べようとすると、またどこからいいにおい。そうやってどんどん歩いた先で出会ったのは……？

えほんE／ぼ 『ながいながいあさごはん』
ポコヤマ クリタ／作・絵 ポプラ社

植物の特徴といえば“葉が緑色をしている”こと。植物は葉の中の葉緑素で光合成をして成長に必要なエネルギーを生み出しています。しかし光合成をしない植物がいるのです。では、どのように栄養をとっているかという、なんと！ ほかの生きものを「食べて」いるのです。

「植物」をやめた植物たちの驚くべき生活をのぞいてみましょう。

ちしきJ47 『「植物」をやめた植物たち』
末次 健司／文・写真 福音館書店



ちいさな街に郵便局がありました。そこにはガイトーとトリノスという二人の郵便屋さんがいました。あるとき、一度も手紙をもらったことがない灯台守のおじいさんの話を聞いたガイトーは、自分の名前を明かさず、おじいさんに手紙を出しました。それは詩の手紙でした。手紙を届けたトリノスは、しみじみと喜ぶおじいさんの様子を見て、自分のめいにも手紙を書いてほしいとガイトーにたのみます。そうするうちに、手紙が街中で評判になりますが、ある日……。

ものがたりJ913／サ 『しじんのゆうびん屋さん』
斉藤 倫／作 牡丹 靖佳／画 偕成社